

僕の頼光ママが
黒人おじさんにNTRれて孕まされる話



基本CG 10枚
立ち絵 1枚
差分+本文 54枚
文字無し 65枚
合計 130枚

〜フレンドのマスターおじさんに呼ばれた頼光ママ〜



「ククッ…いくらガチャを引いても出なかったママ。
俺の女にしてやる…。」



「ふんっんんっん」



「初めまして
本日はよろしくお願い致しますね」



「(念願の頼光が目の前に居やがる……フヒヒ……)」

「おや……？魔力補給がどうやら必要のようだな」

「え？魔力補給ですか？」

「そうだ、まず魔力補給をしなければいけないぞ」



「その必要は無いと思いますが……」

「俺のカルデアに来てもらったサーヴァントは
まず魔力補給してもらおう事になっているんだ」

「準備万端で戦いに挑まなければいけないからな」



「はあ……」

「ちゅ、まずは降ろしてもらおうか……」

「……」



「こんな大きいモノを……?」



ぽんぽん

「ズズズ…！ズズズ…！ズズズ…」

じゅぽ
じゅぽ

じゅぽ
じゅぽ

「ああ、頼光ママのロマン、気持ちいいぜえ…」
「んん…おっ…」



「んほお……おう」

「ママ、俺のチンポの味はどうだ？美味いだろ？」

「んん……おいひくくないれす……」

いゅっほ♡

いゅっほ♡

「ママの為に溜めてた俺のチンカスまみれのチンポ、綺麗に舐めとってくれよ？」

「んぶっ……」

「ああ……もういきそうだ！全部呑み込め！」

「んんっ！」

「んんっ...んんっ」



びゅんっ

びゅんっ

「んふう……ぶりゅ……ぢゅるる……」

「下品な顔してチンポしゃぶってるママ、最高に可愛くよ」

ハァー……

「そんなにやーと……言わないでくりやひやー」
「これから徹底的に犯してやるからね、ママ」

ハァー……



「ジュン……ジュンでしようか？」

「こんなデカ乳でいつもアイツのチンポにジュンしてるのか？」

「あの子の事は言わないでください……んっ……」
「おほっ……すげえ乳圧っ」

ジュン
%
♡

「俺のチンポをすっぽり包んで……
さすが頼光ママのおっぱいだぜ……」

「はあ……い……も……と……激しく……」

にゅが♡

にゅが♡



「ああ……お母さん……ママ……おっぱい……」

おっぱい

おっぱい



「.....」

「.....」

「.....」

「.....」



「……」

ドロドロ♡

「俺のザーメンでドロドロになったママ……たまらねえ……」



「こんなドロドロの…」

(あの子の匂い比べるととても臭くて粘り気のある…。)

ヒア…

「今度は…セックスしてもらおうか」
「えっ!?!?」

ヒア…



「はっ、はやく済ませてくださいっ…」

「何言ってるんだ？早くなんて済ませるわけないだろ」

ハア……

「ねっとりとし合っで子供が出来るまで魔力補給するんだよ」
「へっ？何を……」

ハア……

「くうん……！」

「ママのオマンコにはいつちやったあ……」
「はあ……はあん」

「締めりがキツイなあ……アイツとはあんまりセックスしてなかったのか？」
「んっ……そんな」とは！はやく済ませてください……！」

キュン♡

ズブツ♡

キュン♡



「やめて……そ「ダメえ……ズボズボしちやだめえ」

あっ♡

あー♡

「駄目って言うって感じてるじゃないか……いけないママだなあ……」

ズブ♡

ズブ♡

「おちんぽ気持ちいい……ああん……ああっ」

「もっと奥の方を突いてやるか」
「んっ……んっ……」

ズキキ

キュン♡

ズキキ



「ああん……チンポっ深いっ」

「ふっ……ふっ……ふっ……！ 膣内に出すぞぉ……！」

「っっ！……？ 中はダメです……中はやめっ……！」

「おおっ出る……！ 膣内に射精するぞ……！」

！！！！

！！！！



「くっくん!!!」
「射精るっ!!!」

ビクッ

ビク

「オマンコイっちゃいんぐ...」
「ふっ...ふっ...」

「ああ、気持ちよかったわ...まだ時間はたっぷりあるよママ」

ビクッ

ビクッ



「んちゅっ……じゅる……」

「……」

「……」

「……」

「これっ……以上は……いけません……っ」

「今日は俺のママなんだから、
そんな」とを言うっ口はふさいでやるっ」

ぐゅゅゅゅ

ぐゅゅゅゅ

「……ん」



「ほろろ」

「ドスケベなママだなあ……」
「んっ……そんな事は」

キョウキ♡

イクミ♡

「俺がタマってるのを全部解消してやるよ」

「……ロロロロ……」

「……うん……うん……」
「……ちゅぽ……ちゅぽ……」

ちゅぽ
ちゅぽ

ちゅぽ
ちゅぽ





「あうー!!んぶうー!!」

「俺のベロチューでイっちゃまったぜ
さあ、また子作りセックスの再開だ」

「こんなに愛し合っちゃって、
頼光はもう俺のママになりたいんだよね？」
「んっ…そんな」どほっ…」

ハア

ハア

ゴッ

ゴッ

ビッ

「んっ？そんな」どはなんだってっ？」
「ひんっ」

「いけませんっ……もうこれ以上は……」
「ママのオマンコたまんねえ……」
入れたばかりでキュウキュウ締め付けてきやがる」

キュウ♡

キュウ♡

「ああん」

ハア

ハア



「ムムム…ムムムム」

ハッ

ハッ

んっ

あっ

「ああ…あんっ…ああ
そっつ突いちやダメえ…」



「イッちやう….:イッちやう….:イッちやう….:」

ジューブ♡

ジューブ♡

んん

パンパン

「オラ！イケッ！俺のママになれ！」





ビクッ

ジュジュ

「……」

「おほおっ……搾り取られる……」

オツ

オオツ

ビュッ

ビュルルルル♥

ハア

ハア

「ナカだしい……ひゅい……
まだイクツ……んんっ……」



「いっ……まだするのですか!?!」

「当たり前だろ 妊娠するまでエッチするんだよ」

「そんなあ……」



ズルッ
ズルッ

「ひゃんー!」

「もうすっぽり入っちゃったよ」

ズ
ッ
ッ
♡



「あっ……ああん」

「この身体も孕ませてもっと豊満な身体にしてあげるからな」

「いやあ……」



キュン♡

ギョッ♡

「さっきまで嫌がっていたのに、自分から腰振ってるじゃないか」

「それっ…はっ…そんな」どはっ…」

パン

パン

「嘘付いたってマンコはキュウキュウ締め付けてるぞ?」

「許してっ! ああん!」



「おおおおお！射精るぞぞ！俺の子を孕め！」

「あ……あ……あ……」



「キスしながら子作りしてあげるママ」

ムキムキ♡

ムキムキ♡

ムキムキ♡

「ん…んちゅっ…もうダメ…」

「愛の結晶を作る前には念入りにキスをしないとね」

ハハハハ♡

ハハ

「ああん……いやあ……」

ハハ



「じゅる……ちゅぽ……
ハァ……ハァ……ムムのお口おじゅる……」

ちゅぽ♡

「ひゃあ……あん……」

ちゅぽ♡

ん
ん

ん
ん





「ふあああああ
激しっ……ああー！」

「んんん……んんん……」

んんん
んんん

んんん
んんん

んんん
んんん
んんん

「イクッ……！ イッちやう……！」
「濃いの出るぞ！ 孕め……！」

7-♡

パッ♡

パッ♡

「ダメ！ ダメエ……！」

7-♡





「ダメ！ダメエロ……！」

ビク

エロ

ゴーン

びゅん♡

びゅん♡

「びゅん……」
「ママのマンコ、精子絞り取られる……」

「まだギンギンだよママ……さあ子作りセツクスしようね、ママ」

「……あ……」

アムン！
♡





あま♡

あま

あま

あま

あま

あま♡

*

「おっ……おっ……」の締め付ける膣の肉厚感……」

ハア♡

ハア……♡

「安産型の尻もたまんねえ……」

「はあ……んあっ……」

キュン♡

キュン♡

「はあっ……はあっ……うめいっ……うめいっ……」

「ぶんっ……どっ……だママ！俺の手○ポは！」

ハッ
ン

ハッ
ン



「このまま膣の奥にたっぷり射精してやるからな！今度こそ俺の子供孕め！」

「だめ！だめえ！もう妊娠しちゃう！」

あっ

あっ

「出るぞー！出るぞー！俺の濃い子種で孕め！ママー！」

「やあああああっ！」

パッ

パッ



「ひんっ 熱いの……が子宮に……注がれてる！」

ゴクゴク♡

ゴクゴク♡

「……うっ……」

ゴクゴク♡
ニルニルニル

ゴクゴク♡
ニルニルニル



「こんなに乳首もドス黒くなっちゃったな」

ハア

ハア

「ハア…ハア…あっ…あん」

ズミ



「……じゅぽぽ……あっ……」

あっ……

あっ……

ぽぽ

ぽぽ

ズポ
ズポ
♡

「赤ちゃんに当たってしまいました……」
「おほっ 動いてる動いてる」



「この子も産ませたらまた種付けして孕ませてあげるからね、ママ」

「ああん……いやあ……」



「お腹の中の子にも栄養上げないとね」

「あん！ああ！激しい！」
「あぁっ！もう出るぞー！」



「妊婦マン」中では出さずぞー！おおおお」

「イグツッ！イグツッ！」



「ブーッ…ブーッ…」

「あゝ気持ちよかったわ…」

ママと赤ちゃんにたっぷり栄養も上げれたし」

ハア…

ハア…

「ひゃあい…」

「出産予定日が楽しみだな…」

ビュッ
グ
グ

ビュッ
グ
グ



「ゴゴッ…ゴゴッ」の音をどんなに待ちわびたか

フー

フー

「ふうーっふうーっ」

「破水したみたいだな」

モクモク
♡



「俺とママの愛の結晶がもうすぐ産まれるんだ」

フー

フー

「ふうーっふうーっ」
「オラッ カ抜け！」

アッー

グッ



「あっ……んあ……赤ちや……ん……産まれっ……」

フーッ

フーッ

「……る……ちや……んぐっ……」

「頭出てきたぞ……もうすぐだ……」

ムニョ

ムニョ



「...ムム...ばね...ムム...」

ムム

ムム

ムム

「はあっ...広がるっ...あああん！」

ブルブル

ムム



「ぶっぶっぶっ……」

んっ

んっ

「愛してるぞ、頼光」
「私もです、あなた……」

グニョ

ムニョムニョ





あーっ

あーっ

ゴクン

ゴクン

びゅん
ちゅん
♡

「マスター、見ていますか？私はあの方の母になりました……」

「もうお会いすることはありませんが
母は幸せな家庭を築きたいと思います」

「では……」



































































































































